

平成24年度 高校生が岡大キャンパスで大学生と共に受ける授業実施要項
《教育連携協議会教育連携事業》

1 目的

高校と大学は、高校の生徒に対して大学の授業の聴講を認めることにより、特定の分野について高い能力と強い意欲を持ち、高等学校レベルの内容にとどまらず様々な教育を受けることを希望する生徒に大学レベルの教育を履修する機会を与える。それによって、個々人の持つ多様で特色ある能力や個性を効果的に伸ばすとともに、生徒自らの進路決定への意識的な取り組みの促進を図ることを目的とする。

2 聴講科目

- 開講学部：文学部・教育学部・法学部・経済学部・理学部・医学部・歯学部
薬学部・工学部・環境理工学部・農学部
- 開講時限：月・火・木・金曜日 各5時限
(津島キャンパス 16:15～17:45 鹿田キャンパス 16:20～17:50)
- 開講授業科目：
前期（授業期間 4月9日～8月8日）
開講授業科目は別紙参照（本学ホームページよりシラバス閲覧可能）
シラバス確認→ http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html
後期（授業期間 10月1日～2月15日）
開講授業科目は別紙参照（本学ホームページよりシラバス閲覧可能）

3 受入れ人数及び受入れ条件

受入れ人数は、授業科目毎に定められた人数（別紙参照）とする。
受入れ条件は、高校の校長からの推薦を受けた生徒とする。

4 聴講の申込み及び聴講の決定

高校は、聴講を希望する生徒のうち校長の推薦を受けた生徒について、推薦書（希望学部毎に一葉）を添付して前期は平成24年3月13日までに、後期は平成24年9月7日までに大学に申込み。大学は、聴講を許可する生徒を決定し、前期は平成23年4月2日までに、後期は平成24年9月24日までに高校に通知する。

5 聴講証

大学は、聴講証を発行しない。聴講する生徒は、高校の発行する生徒手帳を携行し、これをもって聴講証とする。

6 成績の評価

大学は、高校の生徒が聴講した授業科目の成績評価は行わない。授業の出欠の確認は高校が行い大学へ報告すると共に、履修状況等から判断して、高校の学校設定教科の単位として認定を行う。

7 聴講の費用

聴講料は、無料とする。ただし、授業に使用するテキスト代及び授業にかかるその他の費用は、生徒各自が負担する。

8 事故の免責

聴講中の不慮の災害事故及び聴講のための通学途中における事故等については、高校が傷害保険等に加入して責任を負い、大学は責任を問われない。

担当・問い合わせ先
岡山大学学務部学務企画課 総務・企画グループ 八木 隆徳
TEL 086-251-7195 FAX 086-251-8440
koudai@adm.okayama-u.ac.jp

平成24年度【前期】公開講義（15講義）		
月	理学部	
	専門科目	
	化学数学 I	
	田中 秀樹 若干人	
火	文学部	法学部
	専門科目	専門基礎科目
	言語学講義 1	現代社会と政治
	辻 星児	河原 祐馬
	2人	20人
	医学部医学科	医学部保健学科
	専門基礎科目	専門科目
	医学概論	医学概論
	松川 昭博	上者 郁夫
	20人	15人
水	環境理工学部	
	専門基礎科目	
	基礎からの力学	
	市川 康明, 木本 和志 5人	
木	経済学部	理学部
	専門基礎科目	専門科目
	経済・経営数学 I	地形学
	村井 浄信	隈元 崇
	5人程度	5人
	薬学部	農学部
	専門基礎科目	専門科目
	有機化学 I	栄養生化学
竹内 靖雄	坂口 英, 宮本 拓	
10人以内	5人	
金	教育学部	教育学部
	専門科目	専門科目
	世界史概論	英語科教育(第二言語習得研究)
	飯田 洋介	高塚 成信
	若干人	若干人
	理学部	理学部
	専門基礎科目	専門科目
	現代数学要論 I	力学演習 I
	中村 博昭	荒木 新吾
	若干人	2人
金	理学部	
	専門科目	
	分子生物学 I	
	富永 晃 10人	

平成24年度【後期】公開講義（11講義）		
月	文学部	教育学部
	専門科目	専門科目
	哲学概説2	気象学
	北岡 武司	加藤 内蔵進
	若干人	5人程度
	理学部	環境理工学部
	専門科目	専門基礎科目
	化学数学Ⅱ	基礎地球科学
	松本 正和	赤江 剛夫, 西村 伸一
若干人	5人	
火	歯学部	工学部
	専門基礎科目	専門基礎科目
	細胞生物学	化学基礎
	杉本 朋貞 他	未定
	5人	若干人
	農学部	工学部
	専門基礎科目	専門基礎科目
	基礎分子生物学	生物学基礎
	稲垣 善茂	未定
5人	若干人	
水		
木	経済学部	
	専門基礎科目	
	経済・経営数学Ⅱ	
	村井 浄信	
	5人程度	
金	教育学部	理学部
	専門科目	専門基礎科目
	中等英語科指導法A	現代数学要論Ⅱ
	高橋 幸子	清水 健一
	若干人	若干人